

# 令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

## 北九州市立 足立 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。  
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。  
本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思えます。  
運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

### 1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

### 2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

### 3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

#### 質問紙調査の結果分析

- 運動やスポーツをすることが好きと感じている児童が多い。好きな理由で、友達や先生に褒められることに喜びを感じている児童が多い。
- 体育科の授業で、自分の動きの質が向上していることを実感している児童が多い。「できなかったことができるようになったきっかけ」の理由として、「友達や先生に教えてもらったり、まねをしたりした」「授業中の自分の動きを動画で見た」と回答している児童が多かった。
- 新型コロナウイルス感染症の影響前と現在を比較して運動する時間が減ったと感じた児童が多かった。

### 4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

- ① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- 体育科における「足立スタンダード」を徹底し、めあてをもち、課題解決に向け、友達と学び合いながら学習する授業づくりに継続して学校全体で取り組む。また、「足立スタンダード」の中に、GIGA端末の活用を組み込み、ICTを効果的に活用し、児童が「できた」と感じ、達成感を味わうことができるようにする。
- 一時間での運動時間を確保するように、時間配分に気を付けて授業計画を立てる。

- ② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- 友達と運動場で進んで体を動かし、体を動かす楽しさを味わえるようにするために、昼休み、運動委員会の児童を中心に、一輪車や竹馬、フラフープの貸し出しを積極的に行い、外で体を動かして遊ぶことを励行する。
- 一昨年に年間を通して昼休みに縦割りで行っていた「なわとびタイム」を行い、児童自らが運動する喜びと達成感を実感できるようにする。